

No. 51

2002

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大屋敷 清 利
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

新春のあけぼのと共に



2002年の夜明けを臨む

初日の出を拝す。

それは、正に瑞春の輝きであり、感謝と決意、そして敬虔なる祈りの時である。――と、鳥が一羽、金鶏の如く天龍を飛ぶ、慶賀の兆か――

白根三山に陽光が射し、伊那谷の新年が明けると、鎮守の森の初参りが賑わう。家内安全、豊穰祈願、入試合格、国土安泰、世界平和……と、様々な願いと祈りが続く。

一組の親子が身じろぎなく手を合わせる。さぞ駿馬の如き若者に……とや。

ことしは午年、馬にあやかって活力・根気の充実する年にしたい。焦らず、じっくりと。

昔から「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」という。馬のよしあしは乗ってはじめてわかる。人も見かけだけでなく、一緒に生活してこそ、その人となりがわかるものだ、と。

また「天馬、空を行く」という。素晴らしい勢いで自由自在に力を発揮する駿馬に若者を置きかえてみたい。

初春の御祝詞と共に、区民皆様方のご健康とご多幸を祈りつつ。

意を表するものであります。
小さな荷物（仕事）は分
け合って、重い荷物は代わ
り合って区民参加で前向き
に進んで行くことを願って
います。



Dr. Shiro Kikuchi is a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and a striped tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.



計 豊

致します。

上げ、就任のごあいさつと
で、ご協力の程お願い申し
りたいと思っていますのまい
はありますが努力してまい
充実発展するよう、微力で
暮らし易い下市田区として
を図りながら、皆様と共に
おりますので、区民の融和
の中で要望事項も多く出て

で、ご協力の程お願い申し上げ、就任のごあいさつと致します。

地域の連帯、その中で培われた人々の温もり、それをお互いがより多く実感できるように下市田であってほしいと願っております。

前区長 富田隆仁

二〇〇二年の新春を迎え、早いもので一ヶ月が過ぎました。皆様如何お過ごしでしょうか。昨年はいまいち不幸な年でしたが、本年こそは平穩で安心して話せる年になります様祈念致しました。

新春を迎え区民各位のご健勝を祈念致します。昨年は新世紀の幕明けとして期待されたが何かと暗いニュースの多い年でした。本年は明るいことの多い年であつてほしいと願っています。

この度、区三役の改選に当たり、長年お勤めいただいた前三役の皆様のご労苦に心から感謝申し上げます。又未熟ながら後任をお受けした、新三役に対しても区民各位の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年は、区民の

けて昨年末全線開通になった。下市田区の西端を通り中段地帯の幹線として利用が増大し、開発も進んでいくと思う。住みよい環境として発展していく事を願っている。

この度、区三役の改選に当たり、長年お勤めいただいた前三役の皆様のご労苦に心から感謝申し上げます。又未熟ながら後任をお受け

ふるさと農道県営湯ヶ洞線は、国道から南大島川沿いに上段へ通じる道路で、藤が丘以西は用地買収も終り工事が進行中である。国

區長 大屋敷 清利

しても区民各位の
変わらぬご支援ご
協力をお願い申し
上げます。

本年は、区民のかねてからの願いであった福祉複合施設「あさぎりの郷」が、四月開業を目指して工事が

急ピッチで進められている。例えば、平成九年十月の下市田区地元町議懇談会で、天竜社跡地へ福祉施設建設の要望が出された。その後、関係各位の尽力によって目前に実現しようとしている。交流センターも設置され多くの利用が望まれている。出砂原地区の活性化にもつながればと念願している。

道路関係では広域農道が着工から十一年の歳月を

三月三十・三十一日に行われる。伝統の獅子舞・囃子屋台の芸能発表会も例年通り準備に入るよう進められている。特に本年は、老朽してきた囃子屋台の修繕をする。又、わらじ作り講習会を開き、旦那前・わらじ作り・後継者の育成もしている。今年も春祭りも伝統を守り盛大にできることを願っている。

環境衛生委員長 社本政二

国レベル、企業レベル



会執行部の皆さんのお力を

反も上かゝ名実とも



獅子曳き部

獅子曳き部

13年選出の

地元議員の抱負

(50音順)



2 区

小池正春



6 区

熊谷元尋



1 区

久保田昌幸



3 区

上沼眞守

「日々研鑽」

上沼眞守

昨年夏の定員割れ無投票の結果による議員附与に対し一抹の不安さえ感じながらも、ご支援頂きました区民皆様に心より御礼申し上げると共に、その責任感を行政に対して『是々非々主義』で貫き通して頑張ります。

下市田区は高森町の大区である以上、行政に係わる諸問題も山積する中で、先輩議員皆様の働きと功績を尊重し、より一層の努力と行動をしながらはならないと奮起しております。

其のためにも、日々議員としての資質を磨き、町民そして区民一人一人の声の代弁者として、その任期四年間を邁進してまいりたいと思います。今回このような機会を設けて頂きました区及び公民館秋の郷編集委員の皆様感謝を申し上げ、区の益々の発展を願って挨拶とさせていただきます。

私の決意

久保田昌幸

昨年の七月の町議選では大変お世話様になりました。選挙の結果は、無投票のうえ一人欠員という意外な結果となりました。これは町民の皆様が日頃の議会活動に対する厳しい審判の結果として重く受け止めねばならぬものと考えます。

長引く不況の中で、リストラ・失業・倒産・農産物の暴落と、町民の暮らしは厳しくなり、税収の落ち込み、交付税の減額と町の財政も一段と苦しくなって参ります。町民の暮らしを応援する町政に集中すべき時と思います。

町の借金を少しでも減らすべく働き、限られた財源が本当に広く町民の為になる様有効に活用され、決してムダ使いと言われる事のない町政を町民と一丸となって進めて参りたい決意であります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

提案できる 議員を目指して

熊谷元尋

国と地方はともに財政状況は厳しく、景気も長い間低迷しています。

そして、社会全体が混乱し、なかなか先を見通すことが難しい時代です。また、地方分権が進み、住民の要望も多様化する中で議会の在り方も問われています。

これまでのように、執行機関をチェックする機能にとどまらず、行政に對して新たな提案ができるような能力を高めなくてはなりません。

そのためにも、議員として、まず自己研鑽に努めたいと思います。

そして、当面する課題に對応しながら、自分たちの町は自分たちが考える、住民が町政に参画しやすい仕組みづくりに取り組みたいと思います。

厳しい地方の財政と 心構え

小池正春

二十一世紀はテロ事件に始まりアフガン戦争、パレスチナとイスラエル、パキスタンとインド、地球全体が争いの中に沈んで行き、世界平和への羅針盤が狂ってしまった。

そして日本はマネーゲームの悪夢から覚めはしたが目覚めの悪い政府は景気回復と数年に亘り語っている。景気回復ではなく、ゲーム前に戻すと云う表現。又一からやり直す、難しい事ではあるが今日の課題と思う。国は都合の悪い事だけは地方分権の美名を借りて介護保険・公共事業、馬の鼻づらに人參をぶら下げた様な町村合併、要は国費が無い、後は国民の皆さん考えてと言うこと。十四年度交付税は一割減で済むでしょうか？、地方税収も同じです。「入るを計って出ずるを制す」以上のことから、町財政の無駄の無い目配りをして参りたいと思っております。

ふるさと祭り

コミュニティ テント村へ出店

大好評の おしるこサービス

下市田区

昨秋十月十七・十八日に「コミュニティテント村」も設置された。幸い好天気に恵まれ「第二十一回ふるさと祭り」が開催された。役場駐車場に並んだ「コミュニティテント村」は、町コミュニティ推進委員会の、各地域委員が中心となって進める「地域の自慢とふれあいの広場」を主旨とするもので、我が下市田からも毎年参加して来ている。



「おしるこの無料サービス」を掲げての下市田区からの出店は、例年大好評だが、今回もまた開催時間中に早々と品切れになってしまい、直接出店に携わる立場からは、誠に張り合いのあるものとなった。

胸元には、白字で下市田の文字を浮き立たせ、赤いバンダナで髪を包み、大区下市田を背負って早朝からみんな頑張った。そのエプロン姿の顔ぶれは、副区長・コミ推委員・支館三役・各分館長・各分館主事・女性ふるさと支部役員二人ずつの総勢で、期間中を当番制にして、交替しながらの活動である。

二つの大鍋をふる稼働させ、餡の練り合わせの力仕事や、ふつつ煮立って飛び散るしるこのかき混ぜ、更に頭部から顔、肩まで白い粉にまみれての餅焼きとか、その間をぬっての接客サービス等々、全員心を一つにしての作業ぶり。

「加減がよくてとても美味しい」と言ってくれる人々との楽しく弾む会話。初顔も旧知も皆同じになる。「三つお願い」「五つ。続いて二つ」と注文の声飛び交う中、疲れも見せず満面の笑顔がテントの中を駆け回る。

地域づくりの一助となつたのではとの自己満足感。多くの人々とのふれあい。やはり出店の意義は大きい。

町公民館事業では、体育部主催のスポーツ大会でスローピッチソフトボール、ソフトバレーボールの試合が各分館対抗で行われました。支館では萩の里祭りが実施され区民の皆さんの協力により盛大に出来ました。公民館では、盆野球大会が分館対抗実施と、又町民運動会も各分館対抗、それぞれ熱気あふれる行事でした。

最後に下市田区民会館で合同会と大掃除、各班に別れて皆さん懸命にやり時間短縮が出来、合同会が開催され、支館長挨拶、そして各分館長が経過報告をし、各自がそれぞれの思いを話し合っ、今後の活動に張りります。

分館長・主事・支館部員 合同会と大掃除



分館長・主事・支館部員 合同会と大掃除

下市田三区部落長 仲平 伸

二〇〇一年四月より新役員がスタートして、早いものです。もう師走の月となつてしまいました。各分館事業計画、支館事業計画、公民館事業計画それぞれの事業計画予算が決定されて、毎月の事業が着実に実施されてきました。新人の私達にとつてはただ新しい事に当たって実施するのみでしたが、中には体験されている方もおりまして、御指導頂き無事出来た事うれしく思い、振り返って見れば各分館ではそれぞれの計画の中に添って実施され、反省して進んで来ました。

町公民館文化祭・TT(とつても、たかもり)新時代の流れで、とても感動のふれあいの中で、下市田支館出店での、おしるこ無料サービスは、非常に私達にとつても良い意味での活動でした。又第二十三回コミュニティの拠点施設と住民参加に出席して、施設視察はとも意義深いものがありました。ふれあい学習にも各分館皆さん頑張ってやってる。

支館では文化祭が秋敬老会が晴れの良き日当たり盛大に行われました。その後には悲しい事もありました。六分館の分館長が亡くなった事でした。町の歩こう走ろう大会が文化の日、悪天候でしたが大勢の人が参加され良かったと思いました。

公民館文化祭・TT(とつても、たかもり)新時代の流れで、とても感動のふれあいの中で、下市田支館出店での、おしるこ無料サービスは、非常に私達にとつても良い意味での活動でした。又第二十三回コミュニティの拠点施設と住民参加に出席して、施設視察はとも意義深いものがありました。ふれあい学習にも各分館皆さん頑張ってやってる。

最後に下市田区民会館で合同会と大掃除、各班に別れて皆さん懸命にやり時間短縮が出来、合同会が開催され、支館長挨拶、そして各分館長が経過報告をし、各自がそれぞれの思いを話し合っ、今後の活動に張りります。

支館では文化祭が秋敬老会が晴れの良き日当たり盛大に行われました。その後には悲しい事もありました。六分館の分館長が亡くなった事でした。町の歩こう走ろう大会が文化の日、悪天候でしたが大勢の人が参加され良かったと思いました。

公民館文化祭・TT(とつても、たかもり)新時代の流れで、とても感動のふれあいの中で、下市田支館出店での、おしるこ無料サービスは、非常に私達にとつても良い意味での活動でした。又第二十三回コミュニティの拠点施設と住民参加に出席して、施設視察はとも意義深いものがありました。ふれあい学習にも各分館皆さん頑張ってやってる。

ようこそ下市田へ

五区 亀山美佐子

早いもので、高森町にお世話になり八年目を迎えようとしております。

結婚生活と同様、始めの頃の緊張もどこへやら、すっかり町の住人としてとけこみ、今日に至ります。

次男の主人と私、お互いの実家の中間となるこの町に住まいをと土地探しを始め、牛牧・一区北・吉田と紹介して頂いたのですが、結局現在の場所にご縁があり、話も進んで土地探しから半年程で引っ越しの運びとなりました。

地主さんとても良い方でこのご縁に心から感謝しております。



ただ当時は、

近くに知り合いもいない、右も

左も分からない等

で寂しい思いもしていましたが、子供の入学と同時に知人、友人もふえて今では楽しい毎日を送っております。

場所柄、静かでその割に買い物に便利。公園も多く

そのほとんどを老人クラブの皆様が管理されているのだとお聞きしました。大変な事です、そのお陰で親子共に楽しい休日も過ごす事が出来る訳で、本当に有難い事だと思えます。

近所の方々も気さくで、お付き合いも楽しくさせて頂いており、土地にも人にもこんなに恵まれて良いものかなあと感じております。それでも、まだまだ分からない事だらけで、色々と教えて頂きながら親子共々成長して行きたいと思っております。

どうぞ今後共よろしくお願いたします。

家族の絆

五区 伊奈川和彦

にこのことになり、話合いの末、家族五人で仙丈岳へ

今から十七、八年前の思い出を書かせて頂きます。家族の絆とは何かと云う思いを持った時、家族が共々有できる思い出をつくらうと、それが心の財産になれ

ばとの思いでつくるならば子供達が学生の内(大学生、高校生、中学生)の今の内

縁(えにし)ということ

四区 北原幸男

去年十月二十日の夜、松源寺で「亀之丞を偲ぶ笛の夕べ」というイベントがありました。その中で「亀之丞物語―青葉の笛哀歌」という放送劇の朗読が行われ、私も作・演出を担当した立場上、出演もしました。大勢の方々がお見えになり、笛の雲竜さんの演奏もすばらしく、楽しくも感動的な一夜となりました。

その夜、わざわざ静岡県の引佐町から、七名の方がお見えになり、今更なが



てくれることがあれば、それが末長くつながる家族の絆ではないかと思ったからです。

夏休みを利用して、早朝車で戸台口まで行き、戸台口からは南アルプス、スーパードをバスで北沢峠まで登り、心配される天候の中を原始林を通り又急な岩

だったはず。当時入寂して九年が経っていたといえ、おそらく人々は慈父と慕っていたであろう文叔

禅師のおしえが、その恩に報いるという形となつて表れたのだということは、想像に難くありません。

それから四十四年あとの井伊直政による松岡家改易の際の手厚い扱いも、その基をたどれば、全て文叔禅師に結ぶ法縁ということになりましょう。それが今日に至るも途切れることなく繋がり、更に発展していくであろうことを思う時、心と心のつながりということ

場を越えて三時間位掛けて仙丈岳の山頂を目ざして苦労をして登り、ついに山頂へ立つことは出来たが、残念ながら天候は悪く楽しみにしていた伊那谷は、全面雲に覆われていた為一望することは出来なかったが、念願の家族での登山はでき、思い出はつくることは出来ました。

不思議なもので、遠く歳月は過ぎてもつい最近の登山であったかのように蘇り、もう二度と行うことの出来ない家族での登山を、今は懐かしく思っている処です。



わたしの作文 ぼくの作文



楽しかったおじょう月

小二 木下あやみ (二区)



今年、おとうさんに、かっ
てもらった、新しいゲーム
「ドンジャラ」で、楽しく
あそびました。
おとうさんと、おかあさ

んと、おと
うとたちと
いとこの、
あいりちゃ
んと、やりました。
おばあさんは、手がいた
いので、見ていて、やりか
たを、おしえてくれました。
ゲームは、ドラエモンの
なかまを、三人ずつあつ
めます。
それを、三組あつめる
と、「ドンジャラ。」と言
います。
それでかつゲームです。
それで、何回もやりま
した。
わたしは、一回かちま

て、「こわ。」
という感じで
したが……。
なんと、ひき
計は仕事がないの
で有名」というの
うか。それでは少
しこまっしてしま
うです。でも、
どんな仕事でも一
生懸命にやるし、
いそがしくなるよ
うに考えて、テキ
パキやっていきま
す。
そして、役員会
などではどんだん

生徒会役員になって

中二 東垣外友貴 (三区)

私は来年度生徒会で、会
計になりました。ホッネを
言ってしまうと、議長をやっ
てみたかったです。議長に
なれば、生徒会三役と一緒に、
中心になって進めてい
くことができると思ったの
です。私はそのために代議
員をやったのに「……。」
という感じでした。

そして、一月十六日の放
課後、ひきつき会がありま
した。三年生がいっぱいい

て、「こわ。」
という感じで
したが……。
なんと、ひき
計は仕事がないの
で有名」というの
うか。それでは少
しこまっしてしま
うです。でも、
どんな仕事でも一
生懸命にやるし、
いそがしくなるよ
うに考えて、テキ
パキやっていきま
す。
そして、役員会
などではどんだん



左側が友貴さん

新刊図書紹介と 利用動向

支館図書
の平成十三
年一月から
十二月まで
の利用総数
は百十八冊
利用人数は
六十九名、
男女比は二
十一対四十
八でした。
平成十二年
九月から区
民会館ホー
ルの二ヶ所
に設けた図書コーナーの存
在が定着してきたためと思
われます。今後も今の貸出
方法を継続していきま
いと考えております。
新年早々に新たに三
十九冊の本を購入しま
した。林藤人氏(牛牧)
から寄贈して頂いた本
を含めて、今年度の新
規購入図書は四十冊と
いうことになりました。
推理小説から歴史もの、
環境問題、子育て、時
事問題などを扱ったも
のまで多様な分野に及
び、いずれも、面白く
興味深いものばかりで
す。是非、来館し本を
手にとっていただきた
と思います。



貸出方法

一、いつでもOK(来館し
た折にいつでも借りられる)
二、手続き簡単(図書貸出
簿ノートに記入するだけ)
三、すぐ取り出せる(新規
購入本は一階ホールに常設)
四、貸出期間は一ヶ月

購入図書一部紹介

プロジェクトX、子供が育
つ魔法の言葉、おやじよ負
けるな、伴侶の死、六十歳
のラブレター、脱「ダメ日
本」宣言、非戦、模倣犯、
「自分の木」の下で、雅子
さま、お父ちゃごめんな。



グループ紹介

高森ニューサウンズ

二区 宮入正男

町政四十周年記念のふるさとミュージカル公演のオーケストラを母体として発足した「高森ニューサウンズ」きています。

も設立四年目を迎えました。その形態もオーケストラから吹奏楽を中心としたバンドへと移行していますが、町のふるさと祭りなどのステージなどで発表をさせて

また、自分たちの活動の発表の場としては、十一月頃飯田市文化会館で行われる伊那谷文化芸術祭にも毎年参加をしています。下市田区の関係では、昨年より文化祭りのステージで発表させていただいておられます。昨年のステージで発表しました「演歌メドレー」は私たちのグループでは初めて取り組んだ演歌関係の曲でした。このステージで私たちの取り組み音楽のレパトリーを広げることができた記念すべき曲です。会場のお年寄りの皆さんの暖かい手拍子や馴染みの曲を口ずさんで下さる姿に支えられて演奏できたことを今でも憶えて

おります。

さて、私たちのグループのモットーは「音楽とは、音を楽しみすること。音が苦ではありません」です。なかなか新たに楽器を始めようとする二の足を踏まれる方もおいでになります。音を楽しんでおきます。二十人程度のグループで、和気あいあいとした活動をしています。

地域の紹介

新世紀の

区民集いの場として

一区部落長 龍口平八

下市田一区は高森町のヘソに位置し、世帯数四百四十四戸、人口約一千三百七十三人の大世帯であります。現在、下段にある集会施設（一区生活改善センター）に加え、区民総意で建設した待望の上段集会施設（一区ふれあい会館）がこの程完成し十月二十一日(日)に竣工式と一区の方々へのお披露目と、これから落



としを兼ねた恒例の「二区芸能祭」が盛大に行われ、建物の完成を祝いました。又、十二月一日(土)には恒例の「一区展覧会」を実施し、絵画、水墨画、書、陶芸、手芸品、写真等々、六十余点が展示され区民の皆さんの目を楽しませ大変好評でした。このようにこの施設は、これからさま

ざまな交流が図られ、文化活動の拠点として数々のイベントが展開される訳ですが、区民の拠り所の場として魅力ある施設となるよう有効活用を図って参りたいと考えております。

何分にも一区は広範囲です。各イベントを通じて近隣の方々との交流を深め、住んで良かったと喜ばれる一区にするため、皆様のご協力の程願って止みません。どうか従来にも増してご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

常会加入への呼びかけを

近年、自治組織未加入世帯（独立世帯）が増え、暮らしに関わる様々な問題が発生しています。これらは地域の連帯意識の希薄化につながり、古き良き慣習を阻害するなど、大きな課題となっています。

● 過日開催のコミュニティ研究集会に於いて、独立世帯解消に向けて概ね次のような宣言を行いました。
● お互いに助け合いながら良い環境づくりを目指す。
● 地域居住者が気持ちよく生活できるよう共同作業等

には積極的に参加する。
● 地域の伝統的行事等の活動に取り組む。
● まさかの時、困った時、地域の皆で助け合う。

以上（一部略）

未加入の方に理解と協力の声かけをお願いします。

編集後記

昨年四月から新しい形で発足した公民館下市田支館活動も、区民の皆様のご理解、ご協力を頂く中で無事推進できますことを、心から感謝申し上げます。

平成十四年も支館事業が親睦・協調など考慮しながら、地域づくりに貢献できるよう、「和」を柱に据えて進めて参りたいと思っておりますので、どうぞ宜敷くお願い致します。

本紙二頁に掲載のように去る十月末の任期満了により、新しい区三役が就任致しました。従って「萩の郷」発行責任者が、大屋敷清利区長に代わり、編集委員会の区三役部分も変更となります。

今後とも内容ある紙面づくりを目指して努力致しますので宜敷くお願い致します。

お詫びと訂正

本紙51号5ページ下段に掲載の
見出し欄「下市田三区部落長」とある
のは、「下市田三区分館長」の誤りで
した。校正の不手際をお詫びして訂正
させていただきます。